

## 令和5年度 第5回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日：令和6年2月20日（火）

■時 間：19:00～20:30

■場 所：日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、小椋委員、井上廉女委員、藤原委員、高津委員、加藤健一委員、長谷川委員、景山委員（欠席：船越委員、遠藤委員、加藤千恵子委員）

【事務局】持田指導主事、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

### 1 開会

会長挨拶

### 2 報告

・令和5年度予算の支出状況（竹田 CSD）

### 3 協議

・奥大山江府学園の学校評価について

○奥大山江府学園の最終自己評価 報告（景山校長）

【自立】①ICT 機器を効果的に活用しながら、対話的で深い学びを実現する授業実践 について

委 員	タブレットで、歴史文化などを見るということも良いことだと思うが、理科などのデータを収集してそこから自分の課題を見つけるような取組をして、学びを広げるという方法はどうか。子ども達は使い方には慣れてきたと思うので、さらに活用するということを考えてもらえたら良い。
景山校長	タブレットの使い方はオンライン学習、調べ学習、話し合いのツールとして多岐にわたっている。これからも活用の幅を広げていきたい。
委 員	タブレットは家庭学習用に毎日持ち帰っているようだが、勉強以外の使い方も出来てしまうので注意が必要である。家庭での使い方は学校の指導だけでは難しいので、家庭と学校的意思疎通を今まで以上に密にして、確認しながら進めていった方が良いと思う。
委 員	ICT の活用、ということだが ChatGPT などの対話型 AI も出てきており、また今以上に使い方を考えながら使うことが必要になってくる。来年度への課題として「自律的な使い方」とあるので、そのあたりも含めてお願いしたい。

【自立】②学習の習慣化と学力の向上 について

委 員	この項目については、前年も同じような内容と評価であったと記憶している。基礎学力はやはり大事であり、基礎学力の定着が出来ていないのだとすれば、気になるところである。
委 員	資料の中で、自習室を開いたが2,3人の利用しかなかったとあった。理由はわかっているか。
景山校長	自習室の効果があまりなかったことについては、はっきりとした理由はわかっていないが、学習の習慣化に向け、今後も試行錯誤しながら取組を続けていく。
委 員	家庭学習強化期間について、記録する勉強時間ばかりを気にして中身が伴わない児童がいる。また資料にもあった通り、宿題もしない児童もいるので、気になっている。

宮本会長	①②について、学校自己評価の通りとする。
------	----------------------

【敬愛】③児童生徒の交流による「やさしさ」や「あこがれ」の醸成

【創造】⑧創意を生かし、新しい学校を自分達で創ろうとする校風の涵養 について

委員	「やさしさ」という意味では本当にいい物を持っており、思いやりのある子が多いと思う。施設分離型の義務教育学校として、工夫しつつ縦の関係をうまく作ってってもらいたい。
委員	資料にある「6年生修学旅行の探究活動」とは何か。
景山校長	修学旅行に向けての事前学習を含めた活動のこと。平和学習を含めて、今までに総合的な学習やふるさと魅力発信科の中で学んだ江府町のことと修学旅行先の広島との比較など、深く掘り下げた学習をした。感染症が流行った為実現しなかったが、来年修学旅行へ行く5年生へ向けての発表も計画していた。
宮本会長	③⑧について、学校自己評価の通りとする。

【剛健】⑤心と体の健康づくり

【剛健】⑥一人ひとりの力を引き出す環境づくり について

委員	PTA 役員をしているが、メディアとの付き合い方について、保護者向けに研修を実施しても非常に参加者が少ない。何か啓発の良い方法がないだろうか。 日野川校舎の生徒達は校庭がないなどの理由で体力づくりが難しく、対策を考えたい。
森田副校長	今年度に入って、休憩時間に町体育館で遊ぶ生徒は増えてきたように思う。また、夏休みなど駅伝に向けて走力アップトレーニングを実施しており、人数を揃えて大会に参加できるようにするため、得意ではなくても頑張る生徒もいる。
委員	メディアとの付き合い方が上手じゃない生徒が目立つとのことだが、具体的にどういうことか。
景山校長	主に、自制的ではないということ。
委員	子どもに自制を求めるのは難しいとは思いますが、放っておくと睡眠時間も短くなるだろうし、懸念する。子どもへのアプローチも必要だが、保護者へのアプローチも重要ではないか。
景山校長	保護者世代も、今のように一人一台タブレットという子供時代を過ごした事がない為、どんな影響が出てくるのかイメージがつきにくいという事もあると思う。子どもの使用によってどういう事が起こりうるのかを保護者と共有した上で、家庭で話し合っただけでルールを決める等が必要だと考える。
委員	保育園児にも既に YouTube を見せる等してしまっており、学校へ入ったからすぐにルール通りに出来るとは思えない。遡って保育園時代から保護者に向けての啓発が必要だと思う。
委員	多くの保護者が集まる PTA 総会でメディア研修をするのはどうかと考えている。
委員	⑥について、5年生はブナの森校舎の最上級生として活躍の場があったりするが、6年生の状況はどうか。
景山校長	6年生の充実に向けて課題と感じられる面がよりはっきりしてきた。まだ確定はしていないが、教室配置などを含め、工夫が必要であると思っている。
宮本会長	⑤⑥について、学校自己評価の通りとする。

【敬愛】④地域学習を通じたふるさとへの愛着の醸成

【創造】⑦探究的な見方・考え方を通して、自分の生き方(キャリア)を考える力の育成 について

委員	ふるさと魅力発信科について、今まで学校運営協議会が行ってきた神楽や大山古道ウォークなどを科に組み込んでどうかと考えた。また、奥大山自然塾やせせらぎ公園の再生などは世界に発信出来るような素晴らしい素材だと思うので、ふるさと魅力発信科で扱っても良いと考えた。
景山校長	今まで江府小と江府中の時代から総合的な学習の中で江府町について学ぶような学習はしてきた。ただし、似たような内容の事もあったので、今はより系統立てて学習出来ていると思う。まだ工夫の余地はあると思っているので、奥大山自然塾なども検討していくかもしれない。

委員	ふるさと魅力発信科の発信の部分が弱いとのことだったので、調べた事や体験などを新聞や広報紙などにして配布するというのはいかがでしょうか。
景山校長	検討する。
宮本会長	④について、自己評価の通りとする。 ⑦について、自己評価はBだが、Bプラス評価とする。

#### 4 その他

- ・第6回学校運営協議会 学校経営方針の承認について、3月14日(木)19:00からを予定

#### 5 閉会